

令和元年度決算に係る

定期監査資料

令和2年7月

地域づくり推進部中山間・地域交通局
中山間地域政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	9 頁
7	事業別実施状況調べ	10 頁
8	予備費の充用調べ	11 頁
9	繰越関係調べ	11 頁
	(1) 継続費通次繰越調べ	
	(2) 繰越明許費調べ	
	(3) 事故繰越調べ	
10	収入証紙取扱額調べ	12 頁
11	現金の取扱状況	12 頁
12	財産に関する調べ	12 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
13	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
14	借受不動産明細調べ	12 頁
15	職員駐車場の管理状況調べ	12 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	12 頁
17	備品の処分状況調べ	12 頁
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	12 頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	12 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	12 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 … 該当なし

(2) 監査意見 … 該当なし

(3) 決算審査意見 … 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 … 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定員	7	13	2	1	0	0	9	14	中山間・地域交通局長を含む（H31は元気づくり推進局長を含む）
現員	(1) 8	(3) 13	(0) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(1) 10	(3) 14	H31は、ふるさと鳥取県定住機構2、島根県中山間地域研究センター1。R2は育休1名
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	0	0	0	0	1	1	

4 役付職員の調べ

(令和2年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
中山間・地域交通局長	太田 裕司	年 1	月 0	
課長	齋藤 正樹	1	0	
課長補佐	溝内 博	2	3	
課長補佐	近藤 寿代	1	3	

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業	7,822	2,822	2,390	2,610
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	II人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (3) 支え愛—②中山間地域の安心と元気をつくる III幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくり—①暮らしやすく、元気になるまちづくり			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
中山間地域の地域資源や遊休施設などを活用したコミュニティビジネスや地域活性化の取り組み、地域への若者の定着支援などを通じて、中山間地域の活性化を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
①みんなで取り組む中山間地域活性化総合支援事業				
事業名	助成内容	補助金額		
地域活性化支援事業	地域交流イベント実施、地域交流拠点改修等への助成(ソフト1/2、ハード1/3) 【事業実績なし】	0千円		
中山間地域コミュニティビジネス支援事業	地域資源を活用した施設等への助成(ソフト1/2、ハード1/3) 【事業実績(1件)】 (大山町：3,000千円) ・大山の自然と食材を体感するコンドミニウム型ホテルを整備。	3,000千円		
地域遊休施設活用支援事業	旧小学校の給食調理棟を活用した獣肉解体処理施設整備への助成(1/2) 【事業実績(1件)】 (江府町：2,220千円) ・獣肉解体処理の施設整備 ・解体技術講習会や捕獲講習会、ジビエ料理レシピ作成会等の開催	2,220千円		
安全・安心活動支援事業	災害・鳥獣害の被害を防ぐ事前の取組への助成(1/3) 【事業実績(2件)】 (岩美町(1件)：316千円) ・集落共同で使用する除雪機械の整備 (智頭町(1件)：199千円) ・集落の避難所で使用する防災資機材の整備	515千円		
合計		5,735千円		
②若者定住等による集落活性化総合対策事業				
助成内容	補助金額			
小規模高齢化集落等(※)が一体となって取り組む、移住者の受入れや地域活性化の取組を最大3年間支援(補助額：市町村負担額の2/3、支援内容：移住者生活支援、住宅取得等支援、地域活性化活動支援等)	0千円			
※小規模高齢化集落等 高齢化率が50%以上かつ世帯数が20戸未満の集落(小規模高齢化集落)、高齢化率が40%以上かつ世帯数が30戸未満の集落(小規模高齢化集落に準じる集落)をいう。ただし、高齢化率が40%未満であっても、世帯数が極端に少ない等で将来的に集落の維持が危ぶまれると市町が認める集落を含む。 【事業実績なし】				

③中山間地域づくりサポート事業

事業名	助成内容	補助金額
中山間地域集落活動支援事業	学生団体等が中山間地域で行う地域活性化活動を支援 (1/2 (小規模高齢化集落での取組は定額)) 【事業実績1 (1件)】 (青山学院大学: 1,132千円) ・青学4ゼミによる鹿野町の関係人口増加、観光促進等を目的としたフィールドワークや研究、提言等	1,132千円
高校と連携した中山間地域の活性化事業	高校と地域が連携し行う地域活性化の取組みを支援(定額) 【事業実績(1件)】 (日野高校魅力向上推進協議会: 423千円) ・日野高校生が主体となって取り組んだeスポーツイベントの開催や他県の高中生との交流等の成果をまとめ、地域の方などに向けて発表するシンポジウムを開催	423千円
合 計		1,555千円

④地域おこし協力隊サポート事業

地域おこし協力隊相談窓口設置、協力隊員及び市町村向け研修会の開催 (532千円)

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
特になし

ウ 成果及び効果

- ・①については、大山参道沿いの建物の空きフロアをリノベーションし、自然と食材に恵まれる大山の暮らしを体感するコンドミニウム型ホテル整備による新たなビジネスの展開や、遊休施設の旧小学校校舎を活用したジビエ解体処理施設の整備などにより、地域に活力や安心して暮らせる地域づくりが進んでいる。
- ・②については、令和元年度の申請はなかったものの、これまでに14の小規模高齢化集落等において取り組み、19世帯41人が移住し、そのうち16世帯32名の移住者が定着している。受入集落の住民等からは「集落の総事や役員など引き受けてもらえて助かる」「子どもの声が聞こえて集落内に活気が戻った」といった声が聞かれている。
- ・③については、学生団体等による地域内での交流活動を通じた提言や高校と地域の連携による地域活性化の取組みにより、中山間地域に新たな賑わいを創出している。
- ・④については、県内市町に配置された地域おこし協力隊の活躍促進及び地域定着に向け、研修会の開催や県独自の相談窓口の設置等を行い、任期後に6割を超える地域定着に繋がっている。

エ 課 題

- ・高齢化、人口減少が進む中山間地域において、安心して暮らせる地域づくりを進めるため、引き続き市町と連携しながら新たな取組の掘り起しや取組の拡大などを図っていく必要がある。
- ・中山間地域の活性化を進めるためには、地域住民の主体的な取組となるような機運醸成が必要であり、集落創造シートや支え愛マップ等のツールを活用しながら、集落の話し合い促進を図る。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
小さな拠点機能形成推進事業	15,197	1,915	13,282	0
鳥取元気プロジェクト	IV 改革と絆で元気に ③暮らしを支える小さな拠点づくりや地域の実情に応じた生活交通モデル構築			
元気づくり総合戦略	II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む (3) 支え愛—②中山間地域の安心と元気をつくる III 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくり—①暮らしやすく、元気になるまちづくり			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

地域の安全安心な暮らしを守り、交流人口の拡大による地域の賑わいの創出を推進することによって持続可能な地域の活性化を図るため、中山間地域の集落や地域住民が連携して取り組む「小さな拠点(※)」の形成など、生活を守る機能のしくみづくりを支援する。

※小さな拠点

人口減少が進んでも、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らし続けられるよう、小学校区など、複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、分散している様々な生活サービスや地域活動の場などを連携させ、生活を支える地域運営の仕組みづくり。

(イ) 事業の実施状況

①小さな拠点機能形成推進事業

小さな拠点の形成を進めるために必要な運営経費や移動販売車の導入などの総合的な支援を行う。

事業名	助成内容	補助金額
中山間地域買物支援事業		
移動販売車等導入支援	移動販売車の導入経費を支援(1/2)(更新の場合1/3) 【事業実績(1件)】 日野町1件 1,274千円(移動販売車の老朽化に伴う更新)	1,274千円
移動販売車運営費助成	移動販売車の運営費(燃料代、車検費等)を支援(1/2) 【事業実績(3件)】 鳥取市1件 94千円、智頭町1件 63千円、琴浦町1件 64千円	221千円
買い物福祉サービス支援事業	移動販売事業者へ高齢者等の見守りを委託・補助する市町村に対して支援(1/2) 【事業実績(5件)】 鳥取市3件 3,150千円、日野町1件 3,023千円、江府町1件 3,700千円	9,873千円
合計		11,368千円

②小さな拠点リーダー育成事業

助成内容	補助金額
小さな拠点の核となる次世代リーダーの確保・育成に要する経費の支援(1/2) 【事業実績(3件)】 鳥取市1件 1,340千円、大山町2件 2,489千円	3,829千円

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点
特になし

ウ 成果及び効果

- ・小さな拠点の形成に係る取組を支援し、県内では令和元年度に新たに6拠点が形成され、計30拠点が形成された。(目標:令和元年度末までに30拠点を形成)
- ・移動販売車が更新(日野町:1台)されるなど、買い物弱者対策に引き続き取り組んでいる。

エ 課題

中山間地域の生活の安全・安心の確保を図るため、関係市町等と連携を図り、持続可能な「小さな拠点」づくりや買い物支援を更に進めていくことが必要である。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
まちなか暮らし総合支援事業	250	0	250	0
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	Ⅲ幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくりー①暮らしやすく、元気になるまちづくり			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>人口流出・高齢化が進むまちなかにおいて、高齢者等をはじめとした地域住民が安心して暮らせるとともに、地域社会の新たな担い手となる若年層にとっても魅力のある「まちなか(※)」を目指す。 ※本事業において、まちなかは中山間地域を除く地域のうち、少子高齢化が進む都市中心部等、市が必要と認める地域をいう。</p>				
(イ) 事業の実施状況				
頁まちなか暮らし総合支援補助金				
事業名	助成内容			補助金額
まちなか居住促進事業	空家等を活用し、新たな担い手として期待される若い世代のまちなか定住を促進(空家の改修等)するための経費を支援(1/2) 【事業実績(1件)】 鳥取市(1件) 250千円 ・高齢化率が30%を超える地区で、居住の用に供するため自ら空家を改修することで40代女性が入居し、自治会にも加入。 空家の利活用の促進と居住人口の増加を図った。			250千円
合計				250千円
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
特になし				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に実施したまちなか生活実態調査により明らかとなった、まちなかにおいて増加する空き家への対策や高齢者等の日常的な憩いの場の不足などの課題について、各市及び関係所属と共有・意見交換を行い、自治会による地域ぐるみの助け合いの仕組みづくりなどの新たな取組に繋がっている。 空き家を活用したまちなか居住促進が図られ、まちなかコミュニティの新たな担い手増加に繋がっている。 				
エ 課題				
各市とも高齢化によるコミュニティの担い手不足、住民主体の話し合いや地域活動の低下を課題と捉えており、地域コミュニティ活性化に向け、各市と連携し、課題意識や主体性を尊重しながら、自治会や地域づくり団体等による新たな活性化の取組を発掘・後押ししていく必要がある。				

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
新たな中山間地域共創事業	1,477	380	1,097	0
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	—			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

これまでの中山間地域施策を根本から見直すことを前提に、市町、地元集落等と一体となって、少人数で住み続けられるための生活環境、機能等のあり方について検討し、今後2年間で新たな「集落再生システム」を構築する。また、企業等の多様な主体と連携した生活支援対策、買い物支援について拡充する。

(イ) 事業の実施状況

①中山間地域集落再生システム構築事業(718千円)

令和元年度は取組モデル集落5地区における集落維持に向けた課題の整理・解決策を検討。集落のアンケート調査、先進地事例調査、集落の課題整理を鳥取環境大学へ委託。

②中山間地域生活支援事業

鳥取県中山間地域買物支援事業について、複数の市町の買い物困難地域で事業を行う移動販売事業者に対し、県の直接補助を可能とするよう改正を行った。

③地域おこし協力隊の活動拡大事業

鳥取県地域おこし協力隊冊子版下作製業務(759千円)

地域おこし協力隊の活動を広く周知するとともに、県民の理解を得て活動しやすい環境を整えるため、隊員の活動を紹介する冊子を作成(1,000部)し、イベント等で配布するとともにHPに掲載した。

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

地域おこし協力隊制度・活動の認知の向上を図ることを目的に、「令和新时代とっとり元気フェス」に県内の現役隊員と元隊員がブースを出展し、活動を紹介する冊子を配布するとともにステージ出演を行い、活動の紹介等を行った。

ウ 成果及び効果

- ・①については、取組モデル集落における調査によって明らかとなった中山間集落の生活実態や課題の洗い出しについて、各町、モデル集落と共有・意見交換を行い、集落課題解決に向けた集落での話し合いに繋がっている。
- ・②については、補助金要綱改正を行い、複数市町の買い物困難地域で事業を行う移動販売事業者の支援体制を整えることができた。
- ・③については、作成した冊子を活用して、地域おこし協力隊の活動内容を周知することで、地域おこし協力隊に対して関心を持つ人を増やすことができた。

エ 課題

地理的要因や担い手の不足などにより生活機能維持の取組が困難な集落等において、少人数でも住み続けるために必要な生活環境や仕組みを確保するために、集落の主体性を尊重しながら、集落や市町と連携しながら取組を支援していく必要がある。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
空き家対策支援事業	16,617	0	0	16,617
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	Ⅲ幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくり①暮らしやすく、元気になるまちづくり			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

空き家の老朽化や不適正な管理等による環境悪化等の問題が顕在化していることから、利活用を含めた早期対策を講じるため、空き家の実態調査及び除却等に取り組む市町村を支援するとともに、老朽危険空き家等の所有者等に対し、その除却に係る費用の一部を補助する。

(イ) 事業の実施状況

○空き家対策支援事業補助金

事業名	助成内容	補助金額
空き家等実態調査支援事業	市町村が実施する地域の空き家等の実態調査への支援 (1/2) 【事業実績 (1件)】 (鳥取市 : 775千円) ・平成30年度に実施した実態調査で把握した空き家等について、所有者等の特定作業、不良度判定等を実施。(2ヵ年事業)	775千円
老朽危険空き家等除却支援事業	法令に基づく指導等を受けた老朽危険空き家を除却するための経費を支援(1/5) 【事業実績 (47件)】 鳥取市3件 195千円、米子市10件 2,769千円、 倉吉市4件 1,065千円、智頭町1件 150千円、 八頭町1件 150千円、三朝町3件 450千円、 湯梨浜町13件 5,842千円、琴浦町5件 732千円、 北栄町7件 4,489千円	15,842千円
合計		16,617千円

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

空き家の規模が大きいことや立地条件等による費用増を理由に空き家の除却を断念する所有者が多いことから、老朽危険空き家等除却支援事業の30万円の補助上限額を撤廃することで、より効果的な支援を行った。

ウ 成果及び効果

県の補助金を活用して、老朽危険空き家の除却支援を実施する市町数並びに除却件数は9市町47件で、前年と比較して2市町13件の増加となり、一層の空き家対策の推進が図られた。

エ 課題

- ・空き家の所有者等が特定できないことにより、危険空き家等の除却が進まず、市町村が代執行により除却する事例が増えていることから、市町村による所有者等の特定及び除却代執行に対するさらなる財政的、技術的な支援が必要である。
- ・今後更に増加する空き家の発生を抑制していくには、除却や利活用を進めていくだけでなく、新たな空き家を発生させないよう事前に予防する方策を併せて講じていく必要がある。

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
空き家利活用推進総合支援事業	4,105	1,040	0	3,065
鳥取元気プロジェクト	—			
元気づくり総合戦略	Ⅲ幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ (3) まちづくりー①暮らしやすく、元気になるまちづくり			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
市場では流通しづらい空き家の利活用を進めるため、空き家の利活用に取り組む専門家団体の活動支援に加え、空き家の利活用に必要な改修工事等への助成、空き家を活用するまちづくりへの支援、貴重な文化資源である古民家空き家の活用モデルの研究など空き家の利活用に向けて総合的な施策を講じる。				
(イ) 事業の実施状況				
①空き家利活用団体支援事業				
助成内容				補助金額
宅地建物取引業協会、建築士会、司法書士会、土地家屋調査士会で構成する「とっとり空き家利活用推進協議会」に対し活動経費の一部を支援 (2/3) 【取組実績】 ・空き家・空き土地・困りごと無料相談会の開催 (2回、来場者 計119組) ・県内大学、工業高等専門学校と連携した空き家の利活用をテーマとした学生デザインコンペの開催 ・協議会ホームページの制作、空き家相談ワンストップ窓口の開設 ・空き家所有者等に向けた「空き家ガイドブック」の作成 ・空き家利活用シンポジウムの開催 (岩美町、米子市) ・先進地視察会の実施 (兵庫県丹波篠山市、京都府伊根町、参加者 14名)				2,312千円
②古民家空き家利活用モデル事業 (繰越R2.8完了予定)				
古民家空き家の利活用に向けた構造安全性の確認・検討、建築基準法への適合が困難なものに対する代替措置の検討等を歴史的建造物の保全に係る専門家である歴史的文化遺産活用推進員に委託して実施。(1,793千円) 【モデル空き家 倉吉市河原町 小川家住宅】				
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> とっとり空き家利活用推進協議会の活動においては、従来の空き家無料相談会やイベント開催等に加えて、ホームページやワンストップ窓口の整備、ガイドブックの作成等、より弾力的な活動を行うための体制づくりを支援した。 空き家の流通促進やまちづくり活動支援の創設に加え、古民家空き家の利活用モデルの検討の実施等、空き家利活用に向けたより総合的な施策の展開を図った。 				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> 専門家団体の積極的な活動により、空き家利活用に向けた地域の機運醸成や意識啓発に加えて、空き家ワンストップ相談窓口を通じた具体的な空き家物件に関する相談対応により、空き家バンクへの物件登録が促進された。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> 空き家利活用に関する機運の醸成を図る上では地域団体や市町村の関与が不可欠であり、引き続き地域団体や市町村による取組への支援、連携の強化を行う必要がある。 住宅市場においては新築指向が強く、空き家の市場流通は一般的でないことから、さらなるマッチング体制の強化、並びに空き家利活用の魅力訴求に繋がる取組を行う必要がある。 				

6 決算資料

一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費国庫補助金	13,925,000	△8,100,000	0	5,825,000	5,115,759	5,115,759	0	0	
	農林水産業費国庫補助金	2,100,000	0	0	2,100,000	2,100,000	2,100,000	0	0	
	土木費国庫補助金	1,305,000	806,000	0	2,111,000	1,040,000	1,040,000	0	0	
	鳥取元気づくり推進基金繰入金	36,047,000	△13,924,000	0	22,123,000	19,539,364	19,539,364	0	0	
	雑入	1,041,000	0	0	1,041,000	248,000	248,000	0	0	
	合 計	54,418,000	△21,218,000	0	33,200,000	28,043,123	28,043,123	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					決算額 B	決算額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引増減額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	自治振興費	63,898,000	△28,119,000	0		35,779,000	32,000,458	8,426,545	23,573,913	0	3,778,542	
	農業総務費	4,856,000	0	0	0	4,856,000	4,478,931	4,478,931	0	0	377,069	
	建築指導費	10,900,000	13,950,000	0	0	24,850,000	18,929,250	18,929,250	0	1,793,000	4,127,750	
	住宅管理費	3,220,000	0	285,000	0	(285,000) 3,505,000	(285,000) 2,796,000	(285,000) 2,796,000	0	0	709,000	
	合 計	82,874,000	△14,169,000	285,000	0	(285,000) 68,990,000	(285,000) 58,204,639	(285,000) 34,630,726	23,573,913	1,793,000	8,992,361	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度 繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・成果・ 不用額・執行率
(自治振興費)							
みんなで取り組む中山 間地域計画づくり支援 事業	3,630,000	△1,609,000	1,509,120	0	511,880	42%	小さな拠点形成に向けた地域住 民との話し合いや住民アンケ ート、研修会、先進地視察など を支援し、地域づくりの計画検 討・実施に繋がった。不用額に ついては、実績による減額に伴 うもの。
(主) みんなで取り組 む中山間地域活性化総 合支援事業	26,382,000	△17,278,000	7,822,343	0	1,281,657	30%	主な事業に関する調べのとおり 。不用額については、新たな 交付申請に備えていたが、申請 がなかったことによるもの。
(主) 「小さな拠点」 機能形成推進事業	22,850,000	△7,202,000	15,197,000	0	451,000	67%	主な事業に関する調べのとおり
(主) まちなか暮らし 総合支援事業	5,100,000	△4,050,000	250,000	0	800,000	5%	主な事業に関する調べのとおり 。不用額については、想定し ていた補助案件の事業費実績が 当初の見込みを下回ったため。
中山間地域振興費	5,936,000	0	5,745,335	0	190,665	97%	中山間地域に係る施策の検討や 国や各県、市町村等との連絡調 整を行った。
(主) 新たな中山間地 域共創事業	0	2,020,000	1,476,660	0	543,340	73%	主な事業に関する調べのとおり
目 計	63,898,000	△28,119,000	32,000,458	0	3,778,542		
(農業総務費)							
農山漁村滞在促進事業	4,856,000	0	4,478,931	0	377,069	92%	施設改修や体験メニュー創造を 支援し、魅力ある滞在エリアの 創造につながった。
目 計	4,856,000	0	4,478,931	0	377,069	92%	
(建築指導費)							
(主) 空き家対策支援 事業	8,000,000	9,780,000 (2,377,000)	16,617,250	0	1,162,750	208%	主な事業に関する調べのとおり (空き家利活用推進総合支援事業 から流用)
(主) 空き家利活用推 進総合支援事業	2,900,000	4,170,000 (△2,377,000)	2,312,000	1,793,000	2,965,000	80%	主な事業に関する調べのとおり 不用額については、新規補助事 業の活用を見込んでいた市町に おいて、制度創設が間に合わず 全額不執行となったもの。(空き 家対策支援事業から流用)
目 計	10,900,000	13,950,000	18,929,250	1,793,000	4,127,750	174%	
(住宅管理費)							
とっとりの美しい街な みづくり事業	3,220,000	0	2,511,000	0	709,000	78%	2市(倉吉市、境港市)の街づ くり協定等に基づく修景施設整 備(計12件)を支援し、街なみ の形成の推進に寄与した。
【明許】とっとりの美 しい街なみ事業	(285,000) 285,000	(0) 0	(285,000) 285,000	(0) 0	(0) 0	100%	境港市(1件)の修景施設整備 を支援した。
目 計	(285,000) 3,505,000	(0) 0	(285,000) 2,796,000	(0) 0	(0) 709,000	80%	
合 計	(285,000) 83,159,000	(0) △14,169,000	(285,000) 58,204,639	(0) 1,793,000	(0) 8,992,361	68%	

8 予備費の充用調べ 該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ 該当なし

(2) 繰越明許費調べ

(単位：円)

科目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳	繰越理由
				一般財源	
建築指導費	空き家利活用推進総合支援事業	4,693,000	1,793,000	1,793,000	構造安全性の確認手法を検討した結果、当初計画より詳細な調査を実施することとなり、その調査に不測の日数を要したため。
合計		4,693,000	1,793,000	1,793,000	

(3) 事故繰越調べ 該当なし

- 10 収入証紙取扱額調べ
有 ・ 無
- 11 現金の取扱状況 該当なし
- 12 財産に関する調べ
(1) 公有財産 該当なし
- (2) 金券類の保有状況
ア 金券の保有状況
 有 ・ 無
- イ タクシーチケットの受払状況 該当なし
- (3) 基金 該当なし
- (4) 債権 該当なし
- 13 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし
- 14 借受不動産明細調べ 該当なし
- 15 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 16 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 17 備品の処分状況調べ 該当なし
- 18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
有 ・ 無
- (2) 物品の照合
 有 ・ 無
- 19 貸付金等状況調べ 該当なし
- 意見、要望等
(1) 業務に関する意見・要望等 特になし
- (2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし